

令和6年度一般会計予算

まちの予算の

あらまし

問い合わせ

財政課 TEL 23・3025

令和6年度の一般会計予算が決まりましたので、概要と主な事業を紹介します。

予算編成の基本的な考え方

物価・原油価格高騰の影響がある中、「次の世代に繋げる安来市」を目指し、「第2次安来市総合計画の将来像「人が集い未来を拓く ものづくりと文化のまち」の実現に向けた施策や、安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略による人口減少対策と安来市の創生を目的とした施策への取り組みを重点的かつ着実に進めます。

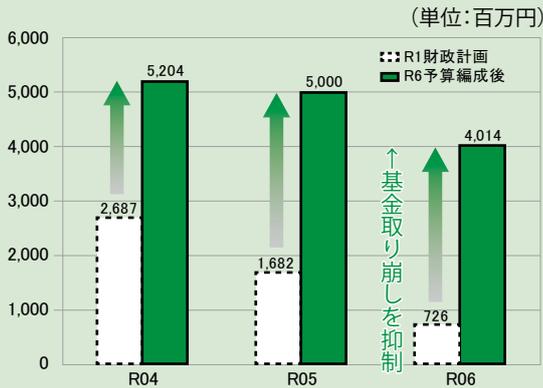
同時に、財政運営のさらなる健全化を図るため、予算編成作業では、「歳入に見合った歳出」を念頭に、職員一人一人がコスト意識を持って施策の優先順位を洗い出し、前例や既成概念にとらわれない徹底した節約や歳入歳出両面での見直しを図り、

一層の行財政改革を進めます。第4次行政改革大綱、同実施計画で位置づけた取り組みを確実に実施し、歳出の見直し、将来負担の軽減を図ります。また、自治体DXについては、あらゆる分野において強力に推進します。

財政健全化の取組み

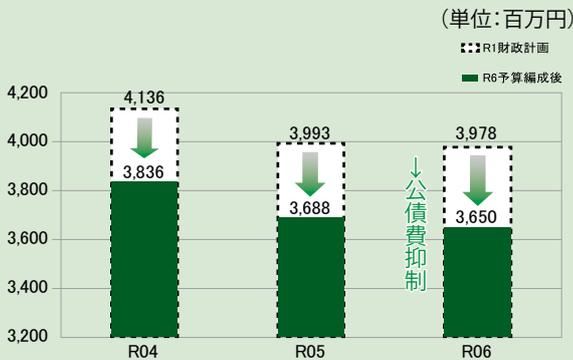
市民サービスに影響がでないよう、内部経費を中心に事務事業の見直しを進めています。

基金現在高の推移



決算剰余金の一部を活用した基金の積み立てにより、残高確保に努めています。

元金償還額の推移 (繰上償還は除く)



積極的な繰上償還により毎年度の公債費負担の抑制、平準化に努めています。

令和6年度予算総括表

(単位: 千円)

会計名	予算額	前年増減
一般会計	27,070,000	920,000
特別会計	10,667,780	△ 1,187,880
国民健康保険事業	3,605,000	△ 312,000
後期高齢者医療事業	1,325,000	113,000
介護保険事業	5,254,000	10,000
電気事業	482,600	△ 85,100
生活排水処理事業	公営企業会計に移行	△ 914,000
母里財産区	870	250
井尻財産区	170	0
赤屋財産区	140	△ 30
合計	37,737,780	△ 267,880

歳入・歳出から見た予算

一般会計の当初予算総額は、昨年度比9億2千万円増の270億7千万円となりました。

歳入は、市税は若干の上向き傾向が見られますが、定額減税の影響を見込み、4.7%減の48億1千万円余を見込んでいます。なお、定額減税の影響については、その全額を地方特例交付金により国からの補填を見込んでいます。建設事業費の増加に伴い財源を確保したことから

市債が5億2千万円余増となっています。

一方、歳出は、物価高騰や賃上げ対応、市民サービスの向上やDX推進、公共施設の適正化に向けた施設改修の予算を確保しつつ、(仮称)安来スマートインターチェンジの整備や工場立地の推進など、人口対策、雇用創出、地域活性化を見据えた将来のまちづくりに必要な事業を盛り込みました。

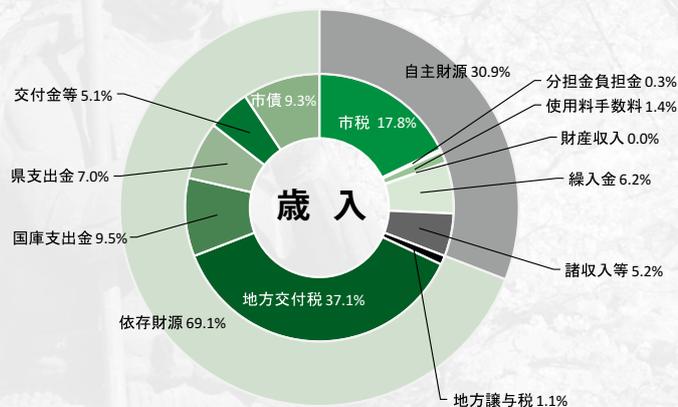
(単位：千円)

歳入区分		令和6年度	前年増減
自主財源	市税	4,814,795	△ 236,215
	分担金・負担金	87,250	△ 4,708
	使用料・手数料	381,154	△ 14,307
	財産収入	12,674	△ 45
	繰入金	1,670,473	265,295
	諸収入等	1,399,065	140,806
依存財源	地方譲与税	294,001	12,000
	地方交付税	10,054,000	304,000
	国庫支出金	2,564,079	△ 288,351
	県支出金	1,896,208	△ 62,941
	交付金等	1,370,201	277,066
	市債	2,526,100	527,400
合計		27,070,000	920,000

(単位：千円)

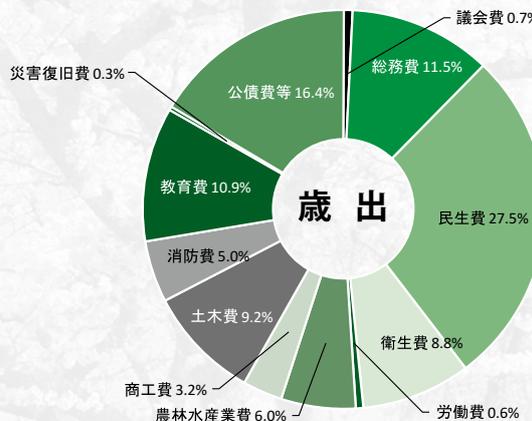
歳出区分		令和6年度	前年増減
議会費	180,262	△ 973	
総務費	3,125,036	461,254	
民生費	7,439,407	162,430	
衛生費	2,369,356	978	
労働費	160,377	3,603	
農林水産業費	1,616,961	△ 36,560	
商工費	878,413	△ 278,443	
土木費	2,493,615	△ 231	
消防費	1,347,238	373,307	
教育費	2,953,810	289,483	
災害復旧費	77,000	△ 10,450	
公債費等	4,428,525	△ 44,398	
合計		27,070,000	920,000

歳入予算内訳



【用語】 自主財源…市が自ら徴収できる財源
 依存財源…国・県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする財源

歳出予算内訳 (目的別)



【用語】 民生費…高齢者・障がい者福祉など
 衛生費…予防接種や各種検診など
 公債費…借入金の元金・利子の返済など



一般会計予算主要事業

保健・医療・福祉

57億3907万円

訪問介護事業所開設支援事業
1440万円

中山間地域の訪問介護事業所の開設及び経営安定までの初期費用を支援し、在宅介護サービスの提供体制を整備することにより住み慣れた地域で安心して住み続けられる環境を整えます。

高齢者補聴器購入助成事業
200万円

身体障害者手帳の交付対象とならない中等度の加齢性難聴を患う高齢者の補聴器購入に対し、その費用の一部を助成することで、認知症発症の早期予防を図ります。

子育て・教育・文化

55億7909万円

医療的ケア児保育支援事業
752万円

日常的に医療的ケアが必要な

子どもを認定こども園で受け入れるため、ケアを行う看護師を配置します。

学校運営協議会設置事業
130万円

学校と地域が相互に理解を深め、教育活動を充実させることを目指し、市内全ての小中学校に学校運営協議会を設置します。

国スポ・インターハイ準備事業
947万円

令和7年度「全国高等学校総合体育大会」と令和12年度「第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会」で安来市が開催地となっています。大会の開催に向け、事前準備を



▲「フェンシング」競技は、国スポ・インターハイとも安来市が開催地です。

進めます。

防災・防犯

14億242万円

常備消防車両整備事業
1億6482万円

平成13年に整備した救助工作車、平成15年に整備した消防ポンプ自動車、平成13年に寄贈を受けた査察車及び平成14年に整備した小型動力ポンプ付積載車の計4台を更新します。

消防車両等整備事業
1640万円

24時間体制で各種災害への対応を図るため、更新計画に基づき老朽化した車両、資機材を整備し、消防力の充実強化を行います。

産業・観光・雇用

26億2256万円

林業人材育成拠点整備事業
6360万円

林業人材育成拠点整備に向けた用地取得を進めるとともに、令和7年度の整備に向けて造成設計を行います。

企業立地雇用促進奨励金事業
6490万円

企業等の新設、増設または移設について要件を満たす場合、企業が投資した投下固定資本総額、新規雇用従業員数に応じた助成を行うほか、空き工場等の家賃に係る経費等を奨励金として交付することにより、企業の設備投資及び雇用増大を図ります。

観光需要の回復、地域活性化を実現し、地域・産業の「稼ぐ力」を回復・強化するため、宿泊施設等が実施する高付加価値化改修に対して補助します。

観光需要の回復、地域活性化を実現し、地域・産業の「稼ぐ力」を回復・強化するため、宿泊施設等が実施する高付加価値化改修に対して補助します。

観光需要の回復、地域活性化を実現し、地域・産業の「稼ぐ力」を回復・強化するため、宿泊施設等が実施する高付加価値化改修に対して補助します。



▲新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、宿泊者数が回復傾向にある「さぎの湯温泉」。





▲「宇賀荘あいのリタクシー」は、多くの利用があったことから、運行を継続します。

都市基盤・生活
40億3867万円

公共交通利便性増進計画策定事業
694万円

市内の既存公共交通網を個別に状況調査し、利便性や効率性の高いものにするための計画策定を行い、既存のバス路線にこだわらない公共交通網の構築を図ります。

高留鼻線道路改良事業
1300万円

まちづくりの基盤となる交通アクセスの確立を目指し、道路整備計画の中で、緊急性・重要性の高い路線から整備を行い、

地域の交通体系の諸問題解消に努めます。

空家等対策事業
1514万円

安来市空家等対策協議会の開催、空家等所有者調査、適正管理を促すための助言や指導、緊急対応等や解体を支援する老朽危険建築物除却の補助制度を引き続き実施します。令和6年度は、啓発用冊子（住まいの終活ノート）を作成し空家対策の促進を行います。

自然・環境保全

7億271万円

再生可能エネルギー普及事業
2375万円

市内公共施設において再生可能エネルギーの設置可能性調査を実施します。再生可能エネルギー普及促進のための設備導入支援について、新たなメニューを設け制度を拡充すること、一層の普及促進を図ります。

屋外照明灯LED化事業
1507万円

電気料金の削減・脱炭素の観点から、リース事業によりLED化した市所管の屋外照明灯の維持管理を行います。

参画・協働・行財政

25億5695万円

新安来市発足20周年記念事業
672万円

令和6年10月で合併から20年を迎えるに当たり、記念式典と記念事業を開催し、新安来市のこれまでの歩みを再確認するとともに、更なる飛躍と住民が協働する住みよい活力あるまちづくりを目指します。

情報システム標準化対応関連事業
2億388万円

これまで自治体独自で行っていた法改正への対応、システム

ふるさと寄附を有効に活用しています

ふるさと納税でいただいた寄附金を令和5年度は次の事業などに活用しました。

- ・戦国尼子フェスティバル
- ・マタニティ応援プロジェクト事業
- ・ICT教育推進事業
- ・湯田山荘改修工事



▲5年に一度開催される「戦国尼子フェスティバル」の武者行列。

令和6年度の当初予算編成方針や事業別概要など、詳しい内容を市ホームページ（下記2次元コード）に掲載していますので、ご覧ください。
トップページ＞市政＞財政＞新安来市の予算＞令和6年度



管理などにかかる負担の軽減と業務効率化による住民サービスの向上を目指します。
DX職員育成事業
150万円

各部署において中心的にDXを推進する人材を育成します。